

しのめケアハウス便り

ブレス & くれっしゅんど

～ひと息ついて、さあ一光に向かって生きよう～

わたしがあなたがたを愛したように

あなたがたも互いに愛し合いなさい。



NO.43

2026年 2月

ヨハネによる福音書 13章34節

響け! 満ちる喜び 愛の歌 ～コミュニティ・心の質～

第16回しのめケアハウス支援チャリティーコンサートを2026年1月17日14時～16時、キリスト教学院仲里朝章記念チャペルで開催しました。200名の来場者を迎え盛会に終了でき感謝の時でした。

メインテーマはタイトルの通りで、愛と喜びに満たされるコンサートになりました。

キリスト教学院宗教部、ジョイネス沖縄共催、女性の翼沖縄の後援で開催しました。出演は林峰栄さん、ジブニかおりさん、金永秀さん、伊藤かおりさん、系洲のぶ子さんのご奉仕を頂きました。プログラムはクラシック、ぽぴらーミュージック等多彩な曲目で「真に心洗われ、癒される愛の満ちる時でした」と来場者の皆様の感動が寄せられました。

チャリティーコンサートは教会の献金と寄付だけで運営するしのめケアハウスの活動資金造成のために毎年出演者のご奉仕と多くの方の支援で続けてきました。共催による取り組みは初めての事でしたが一層の喜びとなりました。ジョイネス沖縄との共催はこれまでしのめケアハウス利用者の医療費支援としてご寄付を継続して下さりしのめケアハウスと同労してくださっている関係から共催で取り組みが始まり企画から準備、実施、運営すべてを担う調整会議を7回開催しました。「楽しみましょう」を合言葉に会議も進められ、相互理解、積極的役割分担がなされたことはコミュニティの形成に繋がり成果を生み、これからの更なるステップとなると思われます。キリスト教学院も従来からご支援いただいていたが会場提供を始め強力な推進力を頂きました。

コミュニティはときに排他性自己充足的な孤立性の側面もあると思いますが安心して一緒にいる、共通の目標や喜びを共にする等の側面もあります。今回の共催はしのめケアハウスの利用者が公的支援を望めない、望まない方たちの最後の砦になっている事、その痛みも自立も困難な方たちの事を知り、共に支え合う、女性や子ども達が人として大切にされ、大切な自分になってほしいために力を分かち合いたいとの使命の共有により「自分の利益よりも他の人々の利益を大事にするという事を受け入れる力がもたらす実りでコミュニティの心の質の現われであったと思います。来場された方々も。そこに愛の喜びが満ちた時であったことを感謝いたします。

シェルターを出て新しい歩みを一歩踏み出すために必要な住まいが、未成年で契約行為が出来ない、保証人が得られない事が大きな理由でシオンの家に止まざるを得ない方が増え、シェルターの居室確保が困難な事態が続き緊急避難を受け入れられない状態がつつきました。必要な方を受け入れられないジレンマに悩みました。女性自立支援施設の利用手続きの改善と受け入れの促進が図られることを望みます。2025.4月から12月の新規利用者が7人と少ないのは利用を断らざるを得ない状況の反映です。

コンサートで約50万円の純益となりましたので、公的支援の充実、拡大を望みつつ、皆様より寄せられた願い、「わたしがあなた方を愛したようにあなた方も愛し合いなさい」のこトバを聴きつつ歩み続けます。ご支援をお願いします。



たくさんの皆さまに支えられて、コンサートを成功することができました。関係者そろって記念撮影。

2025年4月～2026年1月 利用報告

2025年4月～2026年1月

1. 利用者の年齢別・理由別 利用状況（延べ人数）

理由 年代	配偶者 等の暴力	家庭内 暴力	恋人から の暴力	貧困ホーム レス	その他	計	割合
10	0	0	0	0	1	1	16.7%
20	0	0	0	0	1	1	16.7%
30	0	0	0	0	0	0	0.0%
40	0	0	0	0	0	0	0.0%
50	3	0	0	0	0	3	66.6%
60以上	0	0	0	0	0	0	0.0%
計	3	0	0	0	2	5	
割合	66.6%	0.0%	0.0%	0.0%	33.4%	100%	100%

2025年度は4月から2026年1月で計7人の利用で、利用者数が減少しました。8月から2026年1月まで約6ヶ月の間新規利用者を受け入れることが出来ずお断りした方が多い結果です。しのめケアハウス利用後の退所先が確保できずシオンの家利用へ移行し、さらにシオンの家利用者も退去困難方が増え、シェルターの居室が確保できなくなりました。今回の利用者中5人はDV被害でその他2名は他施設からの行き場なしの紹介利用です。

2. 同伴者の状況 性別・年齢（延べ人数）

	乳児	幼児	小学生	中学生	高校生	18歳以上	計
男	0	0	0	1	0	0	1
女	0	0	0	0	1	0	1
計	0	0	0	1	1	0	2
割合	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	100%

家族同伴者は1名で他は単身の利用でした。

3. 紹介機関（利用契機）

理由 年代	県女性相談所	DV相談センター	市町村	教会関係	その他	計	割合
10	0	0	0	0	1	1	16.7%
20	0	0	0	0	1	1	16.7%
30	0	0	0	0	0	0	0.0%
40	0	0	0	0	0	0	0.0%
50～64	0	0	3	0	0	3	66.6%
65以上	0	0	0	0	0	0	0.0%
計	0	0	3	0	0	5	100.0%
割合	0.0%	0.0%	60.0%	0.0%	40.0%	100.0%	

利用者7人中5人は市町村紹介でその他は2は他のシェルターからの紹介です。

自宅退去は相手が退去後、安全を確保しての退去。その他は紹介施設へ退去、シオンの家利用2名となっている。

4. 退所先

行先	県機関	市町村	アパート賃貸	親族宅	自宅	病院	シオンの家	その他	計
人数	0	0	0	0	2	0	1	2	5

5. 利用日数

行先	1～5泊	6～10泊	11～15泊	16泊以上	総日数	平均滞在日数
人数	1	0	2	2	69	14.60

シェルター利平均利用期間 11.5日と利用期限15日以下となっていますが、利用期間の延長が長期化する際はシオンの家の賃貸契約に移行した結果である。

利用者からのお手紙

まず始めに約1年間大変お世話になりました。困り果てていた私を引き受け助けてくださりありがとうございました。

解決すべきたくさん抱え、困難し、精神的に辛く、住み始めた時期は泣いていましたが、徐々に生活に慣れ、笑うことが少しずつ増えて行きました。また、建物の下にはコンビニとスーパーがあり、安心して気分転換する場所は近くにはなく少し不便もありました。週に1度シフォンケーキを作って持ってきてくれる方が居て、その方とおしゃべりしながら一緒にケーキを食べさせてもらえました。館内はwifiの設置もしてくださっています。週に一度生活雑貨や洋服、マンガ、雑誌等の販売者が来るといういなあと思います。気晴らしできるものを取り入れると、困難を抱え、疲れ果てた心も癒されますよね。部屋にはテーブルやベッド、家電製品がほぼそろっています。館内の冬は構造上とても冷えるので布団、毛布、スリッパは必須でした。時々、職員さんとの少しの会話を持て、笑顔を見ると安心しました。

こうして過ごし、日々暮らしながら、結果として、利用している看護ステーションの方からの助けて無事、この部屋から引っ越すチャンスを頂き、前進できる日が訪れました。

毎日毎日泣いていたばかりの日々から、ひとつひとつ問題も解決をし、人の助けに救われ、前に進む中で気づいたことは、人は人の元気をもらったり、助けを借りたり、「笑顔」に支えられ、成長するという事です。今度は私が誰かを助けてあげられるようになりたいです。本当に本当にありがとうございました。きっと、生涯の中で忘れる事なく感謝続けます。

第16回 しなのめケアハウス支援チャリティーコンサート 報告

ジョイネス沖縄・沖縄県女性の翼・カトリック女性会等の女性団体の協力で250枚のチケットが売れました。売り上げ以上に、しのめケアハウスの活動を伝えてくださったことが大きな働きでした。100名の方々がアンケートに答え、会場出口の献金箱へ56,702円の多額な支援金も寄せられました。また、会場設営や駐車場の誘導等、沖縄ダルクの力強い奉仕に来場者も助けられましたとの声があり、多くの方々の協力で支援チャリティーコンサートを終えることができました。



支援の広がり

ジョイネス沖縄

崎山洋子実行委員長よりコンサートチケット売上金を贈呈される。



メイ基金

日本カトリック教会那覇地区女性会石原会長及び会員の皆さまよりメイ基金の贈呈を受ける



首里教会の献品



神愛バプテスト

食品献品および支援金の贈呈



OKフードバンク

12月のクリスマスの頃に今年も、OK基金より食料品及び日用雑貨の献品を受け取りました。

支援者の声

去る1月17日に開催された第16回(15周年)チャリティーコンサートに、沖縄キリスト教学院宗教部が「共催」というかたちで関わらせていただき、会場を提供させていただきましたことを、心から光栄に思い、また感謝申し上げます。また本学の金永秀学長を出演者として加えてくださったこともまた意義深いことでした。2026年、残念ながら国内外ともに世相的には決して明るい幕開けではありませんでしたが、このコンサートだけは、その場に居合わせたすべての人にとって、こころ休まる憩いと癒しと恵みのひとときだったのでないかと思います。このような時だからこそ私たちは、自分の出来る小さな努力を重ね続けることを忘れてはならないと考えます。自分の身の周りで小さな正義を示し、小さな平和を作りだし、小さな愛を分かちあおうとする努力です。しのめケアハウスの働きを引き続き覚えて祈り、支えさせていただきたいです。

許伯基牧師(沖縄キリスト教学院 宗教部)



2025年度 4月～2026年1月 収支書報告

2025年4月1日～2026年1月30日

収入の部			支出の部		
科目	25年度予算	4月～26年1月	科目	25年度予算	4月～26年1月
支援金	1,500,000	1,499,833	室料、面談室	1,179,000	718,000
利用料	200,000	79,056	利用支援・免除金	271,000	43,500
利用免除金	135,500	43,500	生活・同行支援金	190,000	50,276
資金造成（コンサート）	200,000	601,702	研修・資金造成費用	150,000	129,838
研修事業	30,000	13,500	管理費	1,326,000	652,769
雑収入	14,183	13,081	什器備品	150,000	19,300
			法律相談利用費	50,000	5,500
			医療・カウンセリング	50,000	0
収入総合計	2,079,683	2,250,672	支出合計		1,619,183
前年度繰越金	825,317	825,317	繰越金		1,456,806
合 計	2,905,000	3,075,989	合 計	2,905,000	3,075,989

収入の部：チャリティーコンサートの収入が多く感謝です。

支出の部：利用している部屋の炊飯器が壊れ新たに1台を購入設置する。

2025年度の支援金・献品者芳名（2025年4月～2026年2月28日）

（個人）

伊波美智子 仲里和花 新垣幸子 比嘉須賀子 大森節子 城間博子 仲宗根勇光 仲本晴男 喜友名ヨシ子 儀保由美子 国吉洋子
嘉数パウロ 宮平良彦 普天間初子 富山君子 秋山宣子 崎原末子 山口加代子 井口華鈴 普天間ともえ 上地晏江 翁長徳子
銘刈辰美 知花スガ子 福盛久子 城間枝都子 仲宗根幸子 比嘉トキ子 岡田富美子 宮平みつ子 田崎真貴子 金城徹 上地武
上地美智子 宮平友香 桃原学 知花節子 仲本瑩 島村枝美 瀬底マサ子 神谷芳美 ジヴニーかおり グレイ恵子 座間味改子
ウィリアム・エルダー 井口さゆり 大城美代子 匿名4名

（団体）

首里教会 更生保護法人がじゅまる沖縄 聖公会沖縄教区 読谷教会 読谷教会サウの会 医療法人海秀会 沖縄県女性相談支援センター
沖縄県子ども未来部子ども若者政策課 宗教法人那覇バプテスト教会 那覇バプテスト教会有志「Party of Praise」平和のコンサート
北中城バプテスト教会有志の会 日本カトリック教会那覇教区女性の会・メイ基金 ジョイネス沖縄 神愛バプテスト教会 シャローム聖霊教会
日本聖書神 学校学生自治会 高原教会 うぶざと伝道所 沖縄県中部福祉事務所 沖縄キリスト教学院 石垣農村伝道所

♡ みなさまの支援金・献品が活動の支えです、感謝します。♡

聖書の言葉

「雲の柱、火の柱」（出エジプト記 13:21～22）

旧約聖書の中に、エジプトで奴隷として強制労働と人権蹂躞に苦しんだイスラエルの民が、預言者モーセに率いられてエジプトを脱出する記事があります。映画の「十戒」や「エクソダス 神と王」にもなりました。神は、苦しみ嘆く人々の声、特に弱い立場に置かれた者の声を聞きます。そして脱出する道へと導きます。それが、昼間は雲の柱が目印となり、夜は火の柱が目印として導くのです。現代の私たちには、雲の柱・火の柱は見えませんが、神は私たちに善き力を与え、助け手を与え、救いと平安の中へと導きます。それは、今も起こっている出来事であり、私たちが常に祈っていることです。

しのめケアハウス運営委員 上地武（首里教会牧師）

銀行 琉球銀行 首里支店 普通570718 名義 しのめケアハウス
支援金 振込先： 郵便 振替口座 番号01790-3-123441 名義 委員長 仲宗根幸子
郵便 振替口座 番号01790-3-123441 名義 しのめケアハウス

しのめケアハウスは首里教会と沖縄キリスト教センターの協働事業です。連絡先 **090-4471-7727**

発行：しのめケアハウス運営委員会 那覇市首里当蔵町2-18 098-884-2918 090-4471-7727